

～群馬県上野村・ひとつきおくれのひなの節句～

乙父（おっち）のおひながゆ

群馬県上野村には、昔のままの自然や生活の姿が今日でも残っています。素朴な形で受け継がれた「おひながゆ」も訪れる人の心にしみじみとした詩情を呼び起してくれます。

子供たちは数日前から「お城」と呼ばれる円形の石積みを作り、当日は朝早くからこの中にこたつやお雛さまを運び込み、そこでおかゆを食べたり遊んだり、楽しいひと時を過ごします。その昔、神流川（かんながわ）を流されてきたお姫様を助け、米のおかゆを差し上げて元気づけたという民話になった伝統的な行事です。

国選択無形民俗文化財及び県の無形民俗文化財に指定されています。

- ・期 日 平成21年4月3日（金） 午前6時頃～
- ・場 所 群馬県多野郡上野村乙父（おっち）地区の神流川河原
- ・アクセス 上信越自動車道下仁田ICから県道45号（下仁田上野）線
湯の沢トンネル経由35分（車）
関越自動車道本庄児玉ICから国道462号・国道299号経由
80分（車）
公共交通利用の場合は、要問い合わせ（早朝の行事のため前泊が必要になります）

問い合わせ 上野村役場観光推進室 0274-59-2111

おひながゆの様子

